

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月
理科	5	大日本		80 ~ 95	9	4 ~ 5

大単元(題材名)	1.天気と情報① 天気の変化		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 勤労，公共の精神／伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D 生命の尊さ／自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 晴れと曇りの決め方がわかる。
	○ 日本付近の天気の変化のきまりがわかる。
	○ 雲の量や動きに着目して観察し，正確に記録することができる。
	○ 様々なメディアを利用して，気象情報を集めることができる。
思・判・表	○ 雲のようすと天気の変化との関係について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるための観察計画を立てることができる。
	○ 天気の変化を雲の動きと関係づけてとらえ，日本付近の天気の変化について，図や言葉を使ってわかりやすくまとめることができる。
	○ 天気の変化について粘り強く追究する活動を通して，天気の変化には雲のようすが関係していることを知り，天気の変化のきまりをまとめようとする。
主体的に学習に取り組む態度	

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 晴れと曇りの決め方や日本付近の天気の変化のきまりを理解している。	B(4)ア(ア)(イ)
	○ 天気は，雲の量や動きに関係していることを理解している。	B(4)ア(ア)(イ)
	○ 雲の量や色，形，動きに着目して観察し，記録カードにわかりやすく正確に記録している。	B(4)ア(ア)(イ)
	○ インターネット，新聞などを利用して気象情報を集め，わかりやすくまとめている。	B(4)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 雲のようすと天気の変化との関係について，今までに経験した天気の変化のようすなどから，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(4)イ
	○ 立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	B(4)イ
	○ 友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(4)イ
	○ インターネットなどを利用して集めた気象情報をもとに話し合い，雲の動きと天気の変化の関係について多面的に考察している。	B(4)イ
	○ 考察から，日本付近の天気は，雲がおよそ西から東へ移動することに伴って，天気もおよそ西から東へと変化していくことを導き出している。	B(4)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 天気の変化のきまりについて，根拠のある予想・仮説を立てて情報を集め，集めた情報の内容から自分の考えをまとめている。	
	○ 雲のようすと天気の変化との関係を調べる観察計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ インターネット，新聞などを利用して気象情報を集め，わかりやすく雲画像を並べるなどふうしている。	
	○ 天気の変化の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 太陽と地面の様子
4	年 天気の様子
5	年 天気の変化(台風)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
天気と雲	1	○天気の変化を見て、気付いたことを話し合う。	時間的・空間的/比較/関係付け
	3	○天気は、雲の様子とどのような関係があるかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○雲の様子と天気の変化の関係を調べる。 ◆ 観察 ○深めよう「いろいろな雲を調べてみよう！」を行う。	時間的・空間的/比較/関係付け
天気の変化	3	○天気はどのように変わっていくかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○気象情報と天気の変化の関係を調べる。 ◆ 調べる	時間的・空間的/比較/関係付け
	1	○深めよう「明日の天気を予想してみよう！」を行う。	時間的・空間的/比較/関係付け
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」を行う。	時間的・空間的/比較/関係付け

教科
理科

学年
5

教科書
大日本

上下 教科書ページ
10

配当時数
11

配当月
5

6

大単元(題材名)	2.生命のつながり① 植物の発芽と成長		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 勤労，公共の精神／伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D 生命の尊さ／自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 種子の発芽には，水，適当な温度，空気が関係していることがわかる。
	○ 種子の発芽には，種子の子葉の中の養分が使われていることがわかる。
	○ 植物の成長には，水，適当な温度，空気以外に，日光，肥料も必要なことがわかる。
	○ 条件を制御して，発芽や成長の条件を調べる比較実験を正しく行うことができる。
	○ 実験の結果を，正確にわかりやすく記録することができる。
思・判・表	○ 種子の発芽の条件について，根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるための実験計画を立てることができる。
	○ 実験や観察の条件設定や結果を表にして，わかりやすくまとめることができる。
	○ 複数の実験の結果を多面的に考察し，妥当な結論を導き出すことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 植物の発芽と成長について粘り強く追求する活動を通して，発芽の条件と成長の条件を調べる実験では条件制御しながら正確な結果を導き出し，その結果を整理して表にまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 種子が発芽するためには水，適当な温度，空気が必要であることを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 種子には，根・茎・葉になる部分と子葉という部分があることを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 種子の子葉には発芽に必要な養分が含まれており，発芽にはその養分が使われていることを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 植物の成長には，水，適当な温度，空気以外に，日光，肥料も必要なことを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 条件制御しながら植物の発芽や成長に必要な条件を調べる実験を行い，その条件設定や結果をわかりやすく正確に記録している。	B(1)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 植物の発芽の条件について，今までに植物を育てた経験や学習したことなどから，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(1)イ
	○ 立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	B(1)イ
	○ 友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(1)イ
	○ 予想を確かめるための実験計画を立てている。	B(1)イ
	○ 発芽前の種子と発芽後の子葉のヨウ素でんぷん反応の違いを関係づけて，植物は子葉に含まれている養分を使って発芽していることを導き出している。	B(1)イ
	○ 植物の成長の条件について，条件制御して調べた結果をもとに発表し合い，植物の成長と日光や肥料とを関係づけて多面的に考察している。	B(1)イ
	○ 考察から，植物の成長には，水，適当な温度，空気以外に，日光，肥料も関係していることを導き出している。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 種子の発芽に必要な条件について，根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て，複数の実験結果を整理して自分の考えをまとめている。	
	○ 植物の成長に必要な条件を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 植物の発芽と成長の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 身の回りの生物
4	年 季節と生物

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
発芽の条件	2	○発芽に必要な条件について、気付いたことを話し合う。 ○発芽に水が必要か調べる。	共通性・多様性/比較/関係付け
	2	○種子が発芽するためには、水のほかに何が必要なのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○発芽に空気が必要かどうか、条件を整えて調べる。 ◆ 実験 1 - 1 ○発芽に温度が関係するかどうか、条件を整えて調べる。 ◆ 実験 1 - 2	共通性・多様性 比較/関係付け/条件制御
発芽と養分	2	○種子には、発芽に必要な養分が含まれているのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○ヨウ素液の使い方を知る。 ○種子に養分が含まれているかどうか、発芽して成長したものの子葉と比べながら調べる。 ◆ 実験 2	共通性・多様性 比較/関係付け/条件制御
植物の成長の条件	4	○植物の成長には、どのような条件が関係するのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○成長に日光が関係しているかどうか、条件を整えて調べる。 ◆ 実験 3 - 1 ○成長に肥料が関係しているかどうか、条件を整えて調べる。 ◆ 実験 3 - 2	共通性・多様性 比較/関係付け/条件制御
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	共通性・多様性 比較/関係付け/条件制御

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月
理科	5	大日本		30 ~ 41	8	6 ~ 7

大単元(題材名)	3.生命のつながり① メダカのたんじょう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 勤労，公共の精神	D 生命の尊さ／自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ メダカには雌と雄があり，雌雄で体のつくりの違いがあることがわかる。
	○ メダカを飼育し，受精卵から子メダカになるまでの変化を観察することができる。
	○ メダカのたまごは，受精後にたまごの中が変化して少しずつ親に似た姿になって孵化することがわかる。
	○ メダカのたまごの変化を観察し，記録カードに図や言葉で正確に記録することができる。
思・判・表	○ メダカの受精後のたまごのようすについて，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるための観察計画を立てることができる。
	○ 孵化したばかりの子メダカの腹の膨らみと子メダカのようすを関係づけてとらえ，膨んだ腹の中の養分でしばらくは餌を食べずに育つことをわかりやすくまとめることができる。
	○ メダカの誕生について粘り強く観察する活動を通して，メダカはたまごの中で徐々に親に似た姿になることを知り，まとめようとする。
主体的に学習に取り組む態度	

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ メダカには雌と雄があり，雌雄の体のつくりの違いを理解している。	B(2)ア(ア)
	○ メダカの適切な飼育方法をよく調べ，理解している。	B(2)ア(ア)
	○ メダカを適切に飼育し，たまごが受精して孵化するまでの変化のようすを図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(2)ア(ア)
	○ メダカは，たまごの中で徐々に変化して，親に似た姿になることを理解している。	B(2)ア(ア)
	○ メダカのたまごの中の変化のようすに着目して観察し，記録カードにわかりやすく正確に記録している。	B(2)ア(ア)
思・判・表	○ メダカのたまごの中の変化のようすについて，今までの経験から，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(2)イ
	○ 立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	B(2)イ
	○ 友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(2)イ
	○ メダカのたまごの中の変化について，1，2日おきに観察して調べた結果をもとに発表し合い，多面的に考察している。	B(2)イ
	○ 孵化したばかりの子メダカが，しばらくは餌を食べなくても膨んだ腹の中の養分を使って育つことを，図でわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○ 考察から，メダカは受精後にたまごの中で徐々に変化して，親に似た姿になることを導き出している。	B(2)イ
	○ メダカの適切な飼育方法について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ メダカのたまごの中の変化について観察したことを図に表すときに，大事なことや気づいたことなどをコメントとして入れるなどくふうしている。	
	○ メダカの誕生の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	
	○ 動物に関心をもって，大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3 年	身の回りの生物
4 年	季節と生物
5 年	植物の発芽，成長，結実(種子の中の養分，発芽の条件，成長の条件)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
メダカのたまごの変化	2	○メダカを見て、気付いたことを話し合う。 ○メダカを飼って観察する。	共通性・多様性/比較/関係付け
	5	○メダカは、卵の中でどのように変化してたんじょうするのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○双眼実体顕微鏡（または解剖顕微鏡）の使い方を知る。 ○メダカの卵の中の様子を、変化したところを比べながら調べる。 ◆ 観察	
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	

教科	学年	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月
理科	5	大日本	52 ~ 59	4	7 ~ 7

大単元(題材名)	4.天気と情報② 台風と防災		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C勤労，公共の精神／伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D生命の尊さ	

【到達目標】

知・技	○ 台風の進み方や台風が近づいたときの天気の変化についてわかる。
	○ 台風の進み方や台風が近づいてきたときの天気の変化について調べ，その結果をもとに雲画像や言葉を使ってわかりやすくまとめることができる。
	○ 台風について，テレビやインターネットなどから，必要な情報を集めることができる。
	○ 台風による様々な災害の資料をもとにして，災害の備えや情報活用の必要性がわかる。
思・判・表	○ 台風が近づいてきたときの天気の様子について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるためにはどのように調べればよいか，計画を立てることができる。
	○ 台風の動きと天気の変化を関係づけてとらえ，台風が近づいてきたときの天気の変化について，図や言葉を使ってわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 台風と気象情報について粘り強く追究する活動を通して，天気の変化には台風の動きが関係していることを知り，天気の変化の仕方をまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 台風が近づくと，雨量が多くなり，風が強くなることを理解している。	B(4)ア(ア)(イ)
	○ 天気は台風の動きによって変わることを理解している。	B(4)ア(ア)(イ)
	○ 気象情報の雨量に着目して調べ，わかりやすくまとめている。	B(4)ア(ア)(イ)
	○ 台風の進み方や台風による災害および水不足解消の恵みなどについて理解している。	B(4)ア(ア)(イ)
	○ テレビやインターネット，新聞などを利用して，台風に関する必要な気象情報を集めている。	B(4)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 台風が近づいてきたときの天気の様子について，今までの経験などから，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(4)イ
	○ 立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	B(4)イ
	○ 友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(4)イ
	○ 予想を確かめるために，どのような気象情報を集めればよいか計画している。	B(4)イ
	○ 台風の動きと天気の変化を関係づけてとらえ，調べた結果をもとに，図や言葉を使ってわかりやすく表現している。	B(4)イ
	○ 台風が近づいてきたことによる天気の変化について，インターネットなどで調べた結果をもとに発表し合い，台風の動きと天気の変化の関係について多面的に考察している。	B(4)イ
	○ 考察から，台風は日本の南の海上で発生し，北へ向かって進むことが多いことを導き出している。	B(4)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 台風が近づいてきたときの天気の変化について，根拠のある予想・仮説を立てて情報を集め，集めた情報の内容から自分の考えをまとめている。	
	○ 台風の動きと天気の変化との関係を調べる計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ テレビやインターネット，新聞などを利用して気象情報を集め，わかりやすく台風の雲画像と雨量情報を並べるなどくふうしている。	
	○ 台風と気象情報の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 太陽と地面の様子
4	年 天気の様子
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
台風の接近と天気	1	○台風が近づいたときに何が起こるのかを話し合う。	時間的・空間的/比較/関係付け
	2	○台風が近づくと、天気はどのように変わるかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○台風が近づいたときの気象情報と天気の変化の関係を調べる。 ◆ 調べる	時間的・空間的/比較/関係付け
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	時間的・空間的/比較/関係付け

教科
理科

学年
5

教科書
大日本

上下 教科書ページ
62 ~ 77

配当時数
7

配当月
9

9

大単元(題材名)	5.生命のつながり③植物の実や種子のできた		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 勤労，公共の精神	D 生命の尊さ／自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ めばなとおばなのつくりがわかる。
	○ 植物は，受粉すると結実することと，実の中には種子ができることがわかる。
	○ 条件を制御して，植物の受粉と結実の比較実験を正しく行うことができる。
	○ 植物の受粉と結実の比較実験を条件制御しながら行い，その結果を正確にわかりやすく記録することができる。
思・判・表	○ 受粉のはたらきについて，根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるための実験計画を立てることができる。
	○ 実験や観察の条件設定や結果を，わかりやすくまとめることができる。
	○ 植物の受粉の有無と結実するかどうかを関係づけてとらえ，妥当な結論を導き出すことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 植物の受粉や結実について粘り強く追究する活動を通して，植物の受粉と結実の比較実験では条件制御をしながら正確な結果を導き出し，その結果を整理してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ めばなにはめしべがあり，おばなにはおしべがあることを理解している。	B(1)ア(イ)
	○ 実ができるためには，花粉がめしべの先につくことが必要であることを理解している。	B(1)ア(イ)
	○ ヘチマのめばなとおばなのつくりを観察して記録している。	B(1)ア(イ)
	○ 顕微鏡を適切に取り扱い，花粉を観察している。	B(1)ア(イ)
	○ 植物は，受粉するとめしべのもとが実になり，実の中に種子ができることを理解している。	B(1)ア(イ)
	○ 受粉後の花の変化を調べる実験を条件制御をしながら行い，その条件設定や結果をわかりやすく正確に記録している。	B(1)ア(イ)
思・判・表	○ 植物の受粉のはたらきについて，今までに学習したことなどから，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(1)イ
	○ 立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	B(1)イ
	○ 友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(1)イ
	○ 予想を確かめるための実験計画を立てている。	B(1)イ
	○ 条件制御をしながら結実に必要な条件を調べる実験を行い，結果をわかりやすく表現している。	B(1)イ
	○ 植物の受粉の有無と結実するかどうかを関係づけて，植物は受粉するとめしべのもとが実になり，実の中に種子ができることを導き出している。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 植物の結実に必要な条件について，根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て，受粉の有無と結実したかどうかを関係づけて整理し，自分の考えをまとめている。	
	○ 受粉後の結実を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 植物の受粉と結実の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 身の回りの生物
4	年 季節と生物
5	年 植物の発芽，成長，結実(種子の中の養分，発芽の条件，成長の条件)
5	年 動物の誕生

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
花のつくり	2	○植物の育ち方を思い出し、花と実について気付いたことを話し合う。 ○花は、どのようなつくりになっているかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○花のつくりを他の花と比べながら調べる。 ◆ 観察 1	共通性・多様性/比較/関係付け
受粉の役割	1	○顕微鏡の使い方を知る。 ○花粉の様子を調べる。	共通性・多様性/比較/関係付け
	1	○アサガオの花粉は、いつおしべからめしべに付くのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○花が開く前と後のおしべとめしべを比べながら調べる。 ◆ 観察 2	共通性・多様性 /比較/関係付け/条件制御
	2	○受粉すると、花にはどのような変化が起こるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○受粉させた花と受粉させなかった花の変化を、条件を整えて調べる。 ◆ 実験	共通性・多様性 /比較/関係付け/条件制御
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	共通性・多様性 /比較/関係付け/条件制御

教科	学年	教科書	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	5	大日本	96 ~ 113	12	9 ~ 10	

大単元(題材名)	6. 流れる水のはたらきと土地の変化				
中単元(曲名)					
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球				
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○ 流れる水には，侵食，運搬，堆積のはたらきがあることがわかる。
	○ 流れる水の量とはたらきを調べる実験を，条件制御しながら適切に行い，その結果を記録することができる。
	○ 流れる水のはたらきの大きさを，水の流れる速さや水量と関係づけてとらえ，その関係をわかりやすくまとめることができる。
	○ 山の中と平地，海の近くの石の大きさや形の違いを，わかりやすくまとめることができる。
	○ 流れる場所によって変化する川や周りのようすについて，写真やコンピュータなどから必要な情報を集めることができる。
思・判・表	○ 流れる水のはたらきによる地面のようすの変化について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるためにはどのように調べればよいか，計画を立てることができる。
	○ 流れる水のはたらきによる地面のようすの変化について，図や言葉を使ってわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 流れる水のはたらきと土地の変化について粘り強く追究する活動を通して，土地の変化には流れる水のはたらきが関係していることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 流れる水には，土地を侵食したり，削った石や土を運搬したり堆積させたりするはたらきがあることを理解している。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 流れる水の量とはたらきを調べる実験を，条件制御しながら適切に行っている。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 曲がっている所の水の流れの速さや土の削られ方を観察し，正確に記録している。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 山の中と平地，海の近くの石の大きさや形の違いをわかりやすくまとめている。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 川の増水による災害を防ぐための様々なくふうを資料をもとに理解している。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 本やコンピュータなどを利用して，川が流れる場所によって変化するようすのわかる資料を集めている。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 流れる水のはたらきについて，今までの経験などから，根拠のある予想を立てている。	B(3)イ
	○ 立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	B(3)イ
	○ 友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(3)イ
	○ 流れる水のはたらきと土地の変化を関係づけてとらえ，調べた結果をもとに，図や言葉を使ってわかりやすく表現している。	B(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 流れる水のはたらきと土地の変化について，根拠のある予想・仮説を立てて情報を集め，集めた情報の内容から自分の考えをまとめている。	
	○ 土で山をつかって，流れる水のはたらきを調べるときの実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 流れる水のはたらきと土地の変化の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
4年	雨水の行方と地面の様子
5年	天気の変化

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
流れる水のはたらき	1	○教科書p.86～87の写真を見て気付いたことを話し合う。	時間的・空間的/比較
	4	○流れる水には、どのような働きがあり、量によって違いがあるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○流れる水の量とその働きを調べる。 ◆ 実験	時間的・空間的/比較
川のように	2	○流れる場所によって、川原の石にはどのような違いが見られるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○流れる水の速さと川原の石の大きさや形の関係を調べる。 ◆ 調べる1	時間的・空間的/比較/関係付け
流れる水と変化する土地	2	○川を流れる水の量が増えると、土地の様子はどのように変化するのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○水の量の変化と土地の変化の関係を調べる。 ◆ 調べる2	時間的・空間的/比較/関係付け
	2	○防災「こう水への備え」を行う。	時間的・空間的/比較/関係付け
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	時間的・空間的/比較/関係付け

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月
理科	5	大日本		132 ~ 153	12	10 ~ 11

大単元(題材名)	8. もののとけ方		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C 勤労，公共の精神／伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 物が水に溶けても，水と物を合わせた全体の重さは変わらないことがわかる。
	○ 物が水に溶ける量には限度があることがわかる。
	○ 物が水に溶ける量は，水の量や温度，溶ける物によって異なることがわかる。
	○ 物が水に溶ける量は水の量や温度によって違うことを利用して，溶けている物を取り出せることがわかる。
	○ 物が水に溶ける量を調べる実験を条件制御しながら適切に行い，その結果を正確に記録することができる。
思・判・表	○ 物が水に溶ける量と水の量や温度との関係について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるための実験計画を立てることができる。
	○ 物が水に溶ける量と水の量や温度を関係づけてとらえ，その関係についてわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 物の溶け方について粘り強く追究する活動を通して，物の溶け方には水の量や温度が関係していることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ (水の重さ) + (溶かした物の重さ) = (水溶液の重さ)であることを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 物が水に溶ける量には限度があり，物が水に溶ける量と水の量や温度との関係について理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 物が水に溶ける量は水の量や温度によって違うことを利用して，溶けている物を取り出せることを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 水の量や温度に着目して実験し，表やグラフにわかりやすく整理して記録している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ メスシリンダーやろ過器具などを，適切に取り扱って安全に実験を行っている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 条件制御を適切に行いながら，物が水に溶ける量を調べる実験を行い，その結果を正確に記録している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 物が水に溶ける量と水の量や温度との関係について，今までに生活のなかで経験したことなどから，根拠のある予想や仮説を立てている。	A(1)イ
	○ 立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	A(1)イ
	○ 友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	A(1)イ
	○ 予想を確かめるための実験を計画している。	A(1)イ
	○ 食塩とヨウバンを使った実験結果から，物が水に溶ける量は，水の量や温度，溶ける物によって違うことを導き出している。	A(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 物の溶け方のきまりについて，根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て，実験結果から自分の考えをまとめている。	
	○ 物が水に溶ける量と水の量や温度との関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 物の溶け方の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3年	物と重さ
4年	金属，水，空気と温度(水の三態変化)

[illegible]

理科 第5学年 評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

[illegible]

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月
理科	5	大日本		118 ~ 131	9	11 ~ 12

大単元(題材名)	8. ふりこの性質		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	A希望と勇氣，努力と強い意志／真理の探究	C勤労，公共の精神／国際理解，国際親善	

【到達目標】

知・技	○ 振り子が1往復する時間は，振り子の長さによって決まることがわかる。
	○ 振り子が1往復する時間は，おもりの重さ，振れ幅によっては変化しないことがわかる。
	○ 振り子が1往復する時間が何によって変わるのかを調べる実験を，条件を制御しながら適切に行い，その結果を正確に記録することができる。
思・判・表	○ 振り子が1往復する時間と，振り子の長さ・おもりの重さ・振れ幅との関係について，実際に振り子を動かしたことから予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるための実験計画を立てることができる。
	○ 複数の実験の結果から論理的に思考し，結論を導き出すことができる。
	○ 振り子が1往復する時間と振り子の長さを関係づけてとらえ，その関係についてわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 振り子の運動について粘り強く追究する活動を通して，振り子が1往復する時間には振り子の長さが関係していることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 振り子が1往復する時間は，振り子の長さによって決まることが理解している。	A(2)ア(ア)
	○ 振り子が1往復する時間は，おもりの重さや振れ幅によっては変化しないことを理解している。	A(2)ア(ア)
	○ 調べたい条件以外の条件は，全て同じにすることを理解している。	A(2)ア(ア)
	○ 振り子の長さ，おもりの重さ，振れ幅の条件に着目して実験し，表にわかりやすく整理して記録している。	A(2)ア(ア)
	○ 条件制御を適切に行いながら，振り子が1往復する時間を変化させる条件を調べる実験を行い，その結果を正確に記録している。	A(2)ア(ア)
思・判・表	○ 振り子が1往復する時間を変化させる条件について，実際に振り子を動かしたときに気づいたことなどから，根拠のある予想や仮説を立てている。	A(2)イ
	○ 立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	A(2)イ
	○ 友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	A(2)イ
	○ 予想を確かめるための実験を計画している。	A(2)イ
	○ 振り子の実験結果から，振り子が1往復する時間は，振り子の長さによって決まることが導き出している。	A(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 振り子が1往復する時間と，振り子の長さ・おもりの重さ・振れ幅との関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 振り子の1往復する時間のきまりについて，根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て，実験結果から自分の考えをまとめている。	
	○ 振り子の運動の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 風とゴムの力の働き

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
ふりこの1往復する時間	1	○振り子を作って、音楽などに合わせて動かしたときに、気付いたことを話し合う。	量的・関係的/比較/関係付け
	5	○振り子の1往復する時間は、何によって変わるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○振り子の10往復する時間をはかる。 ○1往復する時間の求め方を知る。 ○振り子の1往復する時間は、振り子の長さで変わるか条件を整えて調べる。 ◆ 実験1-1 ○振り子の1往復する時間は、おもりの重さで変わるか条件を整えて調べる。 ◆ 実験1-2 ○振り子の1往復する時間は、振れ幅で変わるか条件を整えて調べる。 ◆ 実験1-3	量的・関係的/比較/関係付け/条件制御
	1	○深めよう「ふりこの長さをもっと長くしてみよう！」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け/条件制御
	1	○作ってみよう「メトロノームを作ってみよう！」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け/条件制御
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け/条件制御

教科	学年	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月
理科	5	大日本	154 ~ 171	11	1 ~ 2

大単元(題材名)	9. 電磁石の性質	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	A 物質・エネルギー	
関連する道徳の内容項目	D自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ コイルと電磁石についてわかる。
	○ 電流の向きが変わると電磁石の極も変わることがわかる。
	○ 電磁石の強さは、コイルに流れる電流の大きさやコイルの巻き数によって変わることがわかる。
	○ 電磁石の強さを電流の大きさやコイルの巻き数などの条件を制御しながら調べ、その結果を正しく記録することができる。
思・判・表	○ 電磁石の力をもっと強くする方法について、これまでに学習したことから、予想や仮説を立てることができる。
	○ 予想や仮説を確かめるための実験計画を立てることができる。
	○ 複数の実験の結果から論理的に思考し、結論を導き出すことができる。
	○ 電磁石の極と電流の向きを関係づけてとらえ、その関係についてわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 電磁石の性質について粘り強く追究する活動を通して、電磁石の強さは電流の大きさやコイルの巻き数が関係していることを知り、まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 電流の向きが変わると電磁石の極も変わること理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 電磁石の強さは、電流の大きさやコイルの巻き数によって変わること理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 実験方法を考え、変える条件・変えない条件を明確にした実験を計画している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 調べたい条件以外の条件は、全て同じにすることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 条件制御を適切に行いながら、電磁石の力を強くする条件を調べる実験を行っている。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ コイルに流れる電流の大きさやコイルの巻き数の条件に着目して実験し、表にわかりやすく整理して記録している。	A(3)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 電磁石の力を強くする条件について、4年生で学んだ乾電池の数やつなぎ方によって電流の大きさが変わることを思い出して、根拠のある予想や仮説を立てている。	A(3)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	A(3)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	A(3)イ
	○ 予想を確かめるための実験を計画している。	A(3)イ
	○ 電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻き数との関係を、言葉でわかりやすく表現している。	A(3)イ
	○ 電磁石の極を変える実験結果から、電流の向きが変わると電磁石の極も変わること導き出している。	A(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻き数との関係を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻き数との関係について、根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て、実験結果から自分の考えをまとめている。	
	○ 電磁石の性質の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3 年	電気の通り道
3 年	磁石の性質
4 年	電流の働き

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
電磁石の極	3	○電磁石の作り方を知る。 ○作った電磁石と磁石の性質を比べて、気付いたことを話し合う。 ○電磁石と磁石の性質を比べる。	量的・関係的/比較/関係付け
	2	○電磁石の極を変えるには、どのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○電流の向きと電磁石の極のでき方を関係付けて調べる。 ◆ 実験1	量的・関係的/比較/関係付け/条件制御
電磁石の強さ	4	○電磁石が鉄を引き付ける力を強くするにはどのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○100回巻のコイルの作り方を知る。 ○電流の大きさと電磁石の強さの関係を条件を整えて調べる。 ◆ 実験2-1 ○コイルの巻数と電磁石の強さの関係を条件を整えて調べる。 ◆ 実験2-2	量的・関係的/比較/関係付け/条件制御
	1	○作ってみよう「電磁石を利用したおもちゃを作ってみよう！」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け/条件制御
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け/条件制御

理科 第5学年 評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上	教科書ページ	配当時数	配当月			
理科	5	大日本		42 ~ 51	8	2 ~ 3			

大単元(題材名)	生命のつながり④人のたんじょう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	B親切, 思いやり	D生命の尊さ／自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ ヒトもメダカと同じように受精卵から成長していくことがわかる。
	○ 子宮内のような、胎盤、へその緒についてわかる。
	○ ヒトは約38週間かけて母親の子宮の中で羊水に守られて育つことと、胎盤とへその緒を通して母親から成長に必要な養分を受け取って成長していくことがわかる。
	○ 母体内での胎児の成長について、本やコンピュータなどから、必要な情報を正確に集めることができる。
思・判・表	○ 母体内での胎児の成長について、学習したメダカの受精卵のようすなどを振り返り、根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○ 母体内での胎児の成長のようすについて、調べた結果をもとに、図や言葉を使ってわかりやすくまとめ、発表することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ヒトの誕生について粘り強く調べる活動を通して、ヒトは母体内で約38週間かけて成長してから生まれることを知り、母体内で成長していくようすについてまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 子宮、胎児、胎盤、へその緒などについて理解している。	B(2)ア(イ)
	○ ヒトは約38週間かけて母親の子宮の中で羊水に守られて育つことと、その成長の変化のようすを理解している。	B(2)ア(イ)
	○ 胎児は、胎盤とへその緒を通して母親から成長に必要な養分を受け取って成長していくことを理解している。	B(2)ア(イ)
	○ 母体内での胎児の成長について、本やコンピュータなどを利用して、必要な情報を集めている。	B(2)ア(イ)
	○ 子宮の中のようすを胎児の成長に必要な養分に着眼して調べ、ノートに正確に記録している。	B(2)ア(イ)
	○ 母体内での胎児の成長のようすを図やグラフ、言葉などでわかりやすくまとめている。	B(2)ア(イ)
思・判・表	○ 母体内での胎児の成長のようすについて、これまでに学習したメダカの誕生の内容などから、根拠のある予想や仮説を立てている。	B(2)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	B(2)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	B(2)イ
	○ 受精から誕生までの母体内での胎児の変化について調べた結果をもとに発表し合い、メダカのたまごの中での成長と比較して考察している。	B(2)イ
	○ 考察から、ヒトもメダカと同様に、受精卵から徐々に成長していくことを導き出している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ ヒトの誕生について、これまでの経験から根拠のある予想・仮説を立てて、自分の考えをまとめている。	
	○ ヒトの誕生の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	
	○ ヒトの誕生に関心をもって、人の命を大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 身の回りの生物
4	年 季節と生物
5	年 植物の発芽、成長、結実
5	年 動物の誕生(魚)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
母親のおなかの中での子どもの成長	1	○子どもが生まれる前と後の様子について気付いたことを話し合う。	共通性・多様性/比較
	3	○胎児は、母親の子宮の中で、どのように成長して生まれてくるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○胎児の成長の様子をメダカの成長の様子と比べながら調べる。 ◆ 調べる	
	3	○胎児の成長や母親の子宮の中の様子について、まとめたことをプレゼンテーションアプリなどを使って分かりやすく発表する。	
	1	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	